

今夜7時から
西成市民館3階
毎週金曜日

みんなでつくる
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

夜間学校ニュース

西成区松之茶屋 5-5-23
連絡先 夜間学校
金ヶ崎

仕事がない、やるせない 個人へのしにかかるもの...

左の記事をまず読んで下さい。
川野さんは多分、飯場に頼みこみに行つて、翌朝に自殺している。飯場に入れ

西成の土木作業員「老後が心配」と焼身
大和高田の農道で
十八日午前五時ごろ、奈良県大和高田市磯野西の農道で、大阪府西成区松之茶屋一丁の六、土木作業員、川野金太郎さん(58)が灯油をかぶり、焼身自殺しているのを、田んぼを見回りに来た近くの農家の人がみつけた。

高田署の調べでは、川野さんは現場近くの土木業者のところで、四月ごろ、働いていたことがあり、十七日、この業者の仕事頼みにきていたという。そばに空になった四用缶の灯油とライターがあり、燃え残った服のポケットに「体が弱く、老後が心配だ。世の中がいやになった」と走り書きしたノートの切れ端があった。

は高令者問題は無い、と断言してあり、高令者「障害者」のための軽作業の要求に耳をかきとほさない。川野さんは身体の具合が悪いうえに、アブレ続きでせっぱつまつて、奈良の飯場へ行った。職安は職の紹介をせず、市更相は福祉の切り捨てを続けている。行政はあてにならず、個人的努力にのみ生存がかわる。行政にケツをもつていくのはまちがいだろうか。川野さんがだらしない、いづくがないから自殺したのだろうか。釜の中には、今、川野さんと同じ立場におかれていた仲間も多々いると思ふか。

釜ヶ崎梅雨の医療週間

からだが悪いのには病院代も保険もない人、高令者、障害者等でせっぱつまつてりる人、えんりよなく一度相談に来て下さい。

相談受付
六月二十五日(月)～三十日(土)
毎朝七時～九時半

受付場所
医療センターまえ
毎朝、医療券を発行し、医療センターで診察を受けたあと、みんなで市更相へ行きます。

釜ヶ崎医療連絡会議
西成区松之茶屋二一五二二三 会議室
金日男・平議員会付六三二・田二二三

六月二五夕方六時
三角公園で

日雇全協才二回大会
報告集会

トヤ飯場四

「梅雨入り宣言は出されたものの、連日七月中旬くらい気温が続く中、アブレ地獄はますます煮つまっていきます。トヤの建てかえと併行してドヤ代も上り、飯場に行く人も多いものの仕事自体はけっして十分とは言えません。右を見て左を見ても明るい材料はなかなか見当たらないのですが、そうした中で、サテ、サテ、サテ……」

「釜の様子が、トヤの建てかえでドンドン変わっている」

「昔は、消防署がうるさいこと、今のままでは火災保険にもなかなか入らへんこと、それに、銀行の金も余っていて貸してくれやすいことなんかもあると思う」

「あそこがやるならうちも、というところもあるで」

「一部屋あたりの志は大きくなるから、泊まる人数は減るのよ、よけい値は上がる」

「アブレ地獄の中にあるワシらとは水と油やないかに」

「最低が一五〇〇円ということになる」

「そうすると、飯場帰りの人しかなかったら、その泊まり人ようにするし、そのくらしも一週間で限度やない」

「五万円あるんやったら、マンシコンに住めるわ」

「最近又方の六時になったら、こども満員や、けど空いているのがほとんどや、管理人がメンドクさい言うこともある」

方山話教題

「頬をおぼえておいてもらわなめかん」

「先払いした分も返してくれへんし、先払いしてて飯場行きが決まったりすると、あわててソラシてることもあるで」

「ドヤ代は交渉だけで解決はむづかしい」

「借金・認定があがってドヤ代が上がるんやったらわかさげと今はその正反對やからな」

「飯場に入っても仕事ないで、一ヶ月おつて一五日しか働らかへんし、三五〇〇円しか残らんかった」

「しんどいから休ませてくれ、言うたら、ずっと仕事なしや」

「突発的な仕事に備えてるんやろけど、アブレがドンドンでてるわ」

「大正くらいやったらアブレをもらいにくることもできるけど姫路になるともうアカンな」

「飯場の親父が働くことのできた人は、働らかへんかった人のために、一五〇〇円ずつプールせえなんか、言いだす程や」

「一回五年前が一番よかったで、今は思うなるばかりや」

「やっぱり現金が出てこんど話しにならんわ」

「今センターでトビ・大工とかいう仕事も、ほとんど普通の仕事らしい、そうせんと人が集まりすぎるからや」